



# ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会

## News

(153)

2024年3月1日  
発行  
ルーテル学院大学  
日本ルーテル神学校  
後援会  
編集  
推進委員会  
<http://www.luther.ac.jp/>  
〒181-0015  
東京都三鷹市大沢 3-10-20  
TEL:0422-31-4611  
FAX:0422-33-6405

### 「卒業おめでとう」がきます

後援会会長 小澤 周司



若葉のアーチが陽射しを受けて、新たな門出が嬉しい春の卒業の季節を迎えました。

ご卒業おめでとうございます。

この四年間の学生生活は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるものでした。そうした状況のもとで、皆さんは、社会の歪みの中で声を上げられない人達に寄り添うことの重要性を、身をもって学ばれたことと思えます。社会は、皆さん一人一人に備わった特徴あるスキルを求めています。どうか「ルーテルの輝き」を発揮してください。

後援会は、学生の皆さんが神さまに

守られて元気に学業を修めることができるようにいつも祈り、経済面でも献金（寄付金）を募って大学・神学校を支えています。全国にある約一五〇のルーテル教会の世話人、卒業生、建学の趣旨に賛同する方々が、力を合わせて学校を応援しています。

卒業される皆さんは、これまで支えられる側に居られました。しかし、どうかこれからは、社会人の一人として、ルーテル学院大学・大学院と日本ルーテル神学校を支える側にまわってくださいようお願いいたします。

神さまの導きと守りが、これからもお一人お一人の上にありますようお願いいたします。

### 感謝とともに



年明け早々に能登で大きな震災がありました。

大学には卒業生たちが具体的な支援に働いてくださっている様子、また応援の声と祈りのことが届けられています。被災された皆さま、また支援に駆けつけてくださった多くの方々に、神様からの癒しと慰め、また祝福をお祈り申し上げます。

こうした災害があれば一層のことですが、現代社会の様々な歪みと格差が、痛みと悲しみを負う人々を多く生み出しているように思います。助け合い、共に生きる社会を皆で作っていく

ルーテル学院大学学長 石居 基夫

必要があるのです。

ルーテル学院は、今からちょうど六十年前に大学設置認可を受け、新しい教育の展開を実現していくこととなりました。カリキュラムを充実させ、牧師や信徒リーダーなど教会での奉仕者ばかりでなく、社会福祉や臨床心理の対人援助の働き人を社会に送り出すことを使命としてまいりました。

ルーテル学院大学、日本ルーテル神学校のためにお祈りとお支えをいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。困難な時代、本学の使命をより一層大切なものとして、新しいカタチを求めてまいります。

### 後援会の3つの働き

後援会は、皆さまと一緒に

- ① 祈り、
- ② 献金し、
- ③ 学生を送り、

ルーテル学院大学と日本ルーテル神学校を支えます！

2023年度募金目標額 **2,500万円** 2024年3月末まで

達成まで あと **700万円** (2024年1月末現在)

ルーテル学院への献金は寄付金控除の対象です。

### お知らせ ゆうちょ銀行 現金送金時の加算料金について

2024年1月22日(月)、窓口やATMから【現金】で送金する際の**加算料金(110円)**が廃止されました。

### 卒業生からの お祝いメッセージ

いかにされている喜び

神学科キリスト教社会福祉コース

卒業生 東海林 寛子



ご卒業おめでとうございます。今年度還暦を迎えました。

私も卒業二か月前に内定をもらって決めた病院を断り、児童精神科に就職を決めました。当時、県には子どもが入院できる精神科病院がなく「やってみよう」と思ってしまったためです。内定をいただいた病院や先輩方には本当に迷惑をかけましたが、今まで精神保健福祉士として働き続けてこられました。

現在は子ども家庭総合センターの中で中学生から三十代までの方や家族からの相談を受けています。キリスト教の下、社会福祉や臨床心理学を学ぶことができるルーテル学院大学の価値は働

### 12/23 クリスマス チャペルコンサート

ルーテル学院職員 福井 貴絵子

共に集い、顔を合わせることがなくなったこの特別なクリスマス。無数のキャンドルの灯りに照らされたチャペルでコンサートが開かれました。

本学のパイプオルガンはキリスト者音楽教師の北尾幸子さんの遺贈と賛同者の寄付金を基に、後援会の募金活動により二〇一六年に完成しました。以来日ごとの礼拝での演奏に豊かに用いられ、このような演奏会の開催が可能になったその恵みに感謝いたします。

パハをはじめ讃美歌でなじんだ曲が、オルガン(湯口依子先生)、トランペット(山本英助氏)、本学聖歌隊(加えて渡邊



公実子先生のソロ)の歌声を織り交ぜながら演奏され、チャペルに響き渡りました。

私の傍らに四、五歳の坊やが座っていました。高らかなトランペットの音色にその坊やが小さく息をのむのが聞こえました。集った方々は、日頃は教会とも讃美歌とも縁のない方もいらしたことでしよう。私もそうですが音楽に詳しくない方もいらしたでしょう。しかしそのような背景に関わらず、幼い子も含め聴く者すべての魂に届くクリスマス喜びに満ちた演奏でした。

アンコール曲はカザルス『鳥の歌』。小鳥はね、『ピース、ピース』と鳴く

### キリストの心を持って

日本福音ルーテル松本教会・長野教会

牧師 野口 和音



ご卒業おめでとうございます。皆さまは今、どのような気持ちで未来を見つめていますか。その中には大きな

不安もあることでしょう。私自身も神学校を卒業して教会に赴任した時は皆さんと同じ気持ちを抱えていたことが、教会に集うたくさんの方々との出会いに支えられて今日まで歩んできました。

ルーテル学院大学・神学校は全国のルーテル教会やたくさんの方々からの献金をいただくことで成り立っています。そしてそのお支えは、経済的な支援だけではありません。皆さんがルーテル学院大学の建学の精神でもある「キリストの心を心とする」人となりますように、という祈りも込められています。このキリストの心とは「他者のために仕え、隣人の幸せのために働くこと」を意味しています。

卒業して学び舎を離れても、時々ルーテルでの生活を思い出してください。後援会の方々をはじめ、出会った友人たちや先生方の存在が、皆さんの心を勇気づけてくれるでしょう。そして今度は皆さんが、キリストの心を持って後援会の支援に加わってください。幸いです。



### 後援会ニュース リニューアルのお知らせ

さらに読みやすくなるように次号よりデザインを一新します。お楽しみに！